【飼育繁殖施設に関するご質問】

Q1： 遺伝子改変動物の飼育繁殖施設への搬入について必要な手続きがあるか？

A1： 「遺伝子組換え生物等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（カルタヘナ法）に基づき、搬入前に所定の情報をご提供いただくことになります。また、所定の微生物検査項目の検査結果が必要となります。詳細については当社営業部あるいは問い合わせフォームよりお問合せください。

Q2： 飼育繁殖施設の SPF 制御のグレードは？

A2： 弊社の飼育繁殖施設は SPF バリア飼育システムを採用しています。微生物検査項目の詳細については当社営業部あるいは問い合わせフォームよりお問合せください。

Q3： 飼育環境は？

A3： 下表のとおりです。

温度	18.0～28.0° C
湿度	30～80%
気圧	陽圧（施設外に対して）
臭気	アンモニア濃度 20 ppm 以下
照度	150～450 Lux
照明時間	7:00～19:00
騒音	60 dB 以下
環境微生物	空飼育室において、 落下菌：30 分間、開放設置した培地（直径 9 cm）あたり 3 個以下 付着菌：壁と床へスタンプした培地（直径 6 cm）あたり 5 個以下

Q4： 受託飼育はどのくらいの規模から引き受けられるのか？

A4： 規模に関してはご相談に応じます。なお全飼育室でマウス約 1,000 ケージ、ラット約 200 ケージの最大収容キャパ（2025 年 8 月予定）がございますので、詳細については当社営業部あるいは問い合わせフォームよりお問合せください。

以上